



理事長 小林 寿夫



明けましておめでとうございます。

昨年5月にコロナ感染が5類に移行したとは言え、我々生活者を取り巻く環境はますます変化の激しい時代を迎えております。日本の国内だけをみても雇用問題、物価高問題、景気問題、少子化問題、食の安全性の問題など、難問が山積しております。さらに今日のグローバル化の時代におきましては、全く予断の許されない世界情勢も我々の生活に密接に絡んで来ます。このような厳しい環境の下、無事に新しい年を迎えることができたことを感謝する気持ちだけは大切にしたいと思っております。

昨今のような一法人の努力だけではカバーしきれない流れの中にあつて、なごみ苑も非常に厳しい状況に來ていると言わざるを得ません。しかし、我々には平成元年の開苑以来培って來た「”今ここに”を大切に”して心豊かに楽しく生活をする」の精神があります。この基本理念を大切に”して、正直で地道な努力をしていけば、必ず結果はついて來ると信じています。この信念の下、昨年9月になごみ苑に隣接する新しい施設としてサービス付き高齢者向け住宅「ルピナス なめりかわ」をオープンすることが出来ました。従来の施設に劣らず地域の皆様に愛される施設を目指して、精進を重ねるつもりで、スタッフ一同張り切っております。

本年も冷静に状況を見極め、周囲の勢いや雰囲気流されずに地に足をつけて頑張りたいと思っております。

新しい年もなごみ苑にとってよい年でありませうように、また、皆さんにとつても素晴らしい年でありませうよう祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

施設長 佐々木 正



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が「2類相当」からインフルエンザと同じ「5類感染症」になりました。集団感染予防策『3密』は各自の判断となり、街に、職場に、家庭に、笑顔が戻ってきました。私たちも“コロナ絶対シャットアウト！”の重圧と呪縛(じゅばく)から解放され、足取りがとても軽くなりました。

7月、1泊2日の研修旅行が復活。感染の不安を道連れに“陸奥(みちのく)なごみの旅”に。

12月、4年ぶりの忘年会！恒例のチームダンス？の競演は大盛況でした。耐えに耐え、忍びに忍び、積もり積もった、もやもや、イライラ。テンポの良いリズムに合わせて発散し、解放を喜び、お互いを労うダンス。笑顔と手拍子、明るい熱気が会場を包み、あふれていました。4年間のブランクを考慮した企画、演出に大きな拍手を送ります。心洗われ、気分爽快、千鳥足で会場を後にしました。

楽しい宴が終わり、現実に戻りますが、リフレッシュしたばかり。しばらくの間は寛大で優しく、にこやかです。でも、直ぐまた、新たなストレスが生まれます。その繰り返しが「生きる」ということです。それならストレスを仲間にしてみては？“問題提起の友”として受け入れると、「辰」に乗って、“客観と俯瞰(ふかん)の友”がやってきます。皆さん、どうです？今年、積極的にトライしてみませんか？

日本も世界も混乱の渦から脱出できず、もがき苦しみ、混んとしています。パレスチナとガザの映像に眉をひそめながら、「生きる」ことの厳しさ、難しさを考えさせられます。どうすれば？ルピナスの花は黙っています。ストレス発散の酒が悪酔いの悪友も連れてきます。

でも、さあ、今年もがんばりませう！